

中部地方整備局

業務内容



〈問合せ先〉

企画部 企画課 企画第一係

0800-500-3166 (フリーフォン)

更なる高みを目指して

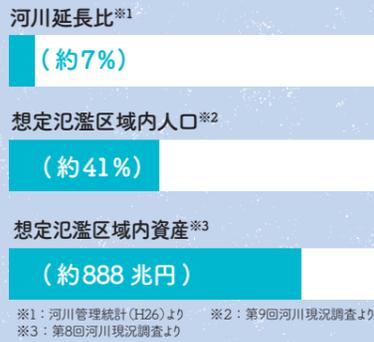
私たち中部地方整備局は、インフラ整備をとおし、中部圏における「災害に強い地域づくり」、
「持続可能で活力ある国土・地域づくり」に重要な役割を担っています。
そして、2027年には名古屋・東京間でリニア中央新幹線が開業予定です。
将来には、東京・名古屋・大阪が一体となったスーパー・メガリージョン*が形成され、
その中心に位置する中部圏は更なる飛躍が期待でき、私たちの役割は更に重要なものになっていくでしょう。
そんな中部地方整備局で、地域をよりよくしたいというあなたの熱意と能力を活かしてみませんか？

*リニア中央新幹線により結ばれた三大都市圏がそれぞれの特色を發揮しつつ一体化した世界最大の広域経済圏。

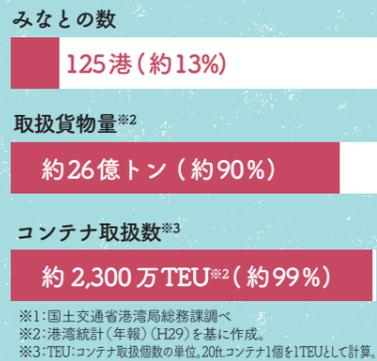
管内事務所・事業位置図

- 岐阜県
 - ① 木曾川上流河川事務所
 - ② 越美山系砂防事務所
 - ③ 新丸山ダム工事事務所
 - ④ 丸山ダム管理所
 - ⑤ 岐阜国道事務所
 - ⑥ 高山国道事務所
 - ⑦ 多治見砂防国道事務所
- 三重県
 - ⑧ 木曾川下流河川事務所
 - ⑨ 蓮ダム管理所
 - ⑩ 紀勢国道事務所
 - ⑪ 北勢国道事務所
 - ⑫ 三重河川国道事務所
 - ⑬ 四日市港湾事務所
- 静岡県
 - ⑭ 静岡河川事務所
 - ⑮ 富士砂防事務所
 - ⑯ 長島ダム管理所
 - ⑰ 静岡国道事務所
 - ⑱ 沼津河川国道事務所
 - ⑲ 浜松河川国道事務所
 - ⑳ 清水港湾事務所
 - ㉑ 静岡営繕事務所
- 長野県
 - ㉒ 天竜川上流河川事務所
 - ㉓ 三峰川総合開発工事事務所
 - ㉔ 天竜川ダム統括管理事務所
 - ㉕ 飯田国道事務所
- 愛知県
 - ㉖ 庄内川河川事務所
 - ㉗ 豊橋河川事務所
 - ㉘ 設楽ダム工事事務所
 - ㉙ 矢作ダム管理所
 - ㉚ 名古屋国道事務所
 - ㉛ 愛知国道事務所
 - ㉜ 名四国道事務所
 - ㉝ 名古屋港湾事務所
 - ㉞ 三河港湾事務所
 - ㉟ 中部技術事務所
 - ㊱ 中部道路メンテナンスセンター
 - ㊲ 名古屋港湾空港技術調査事務所

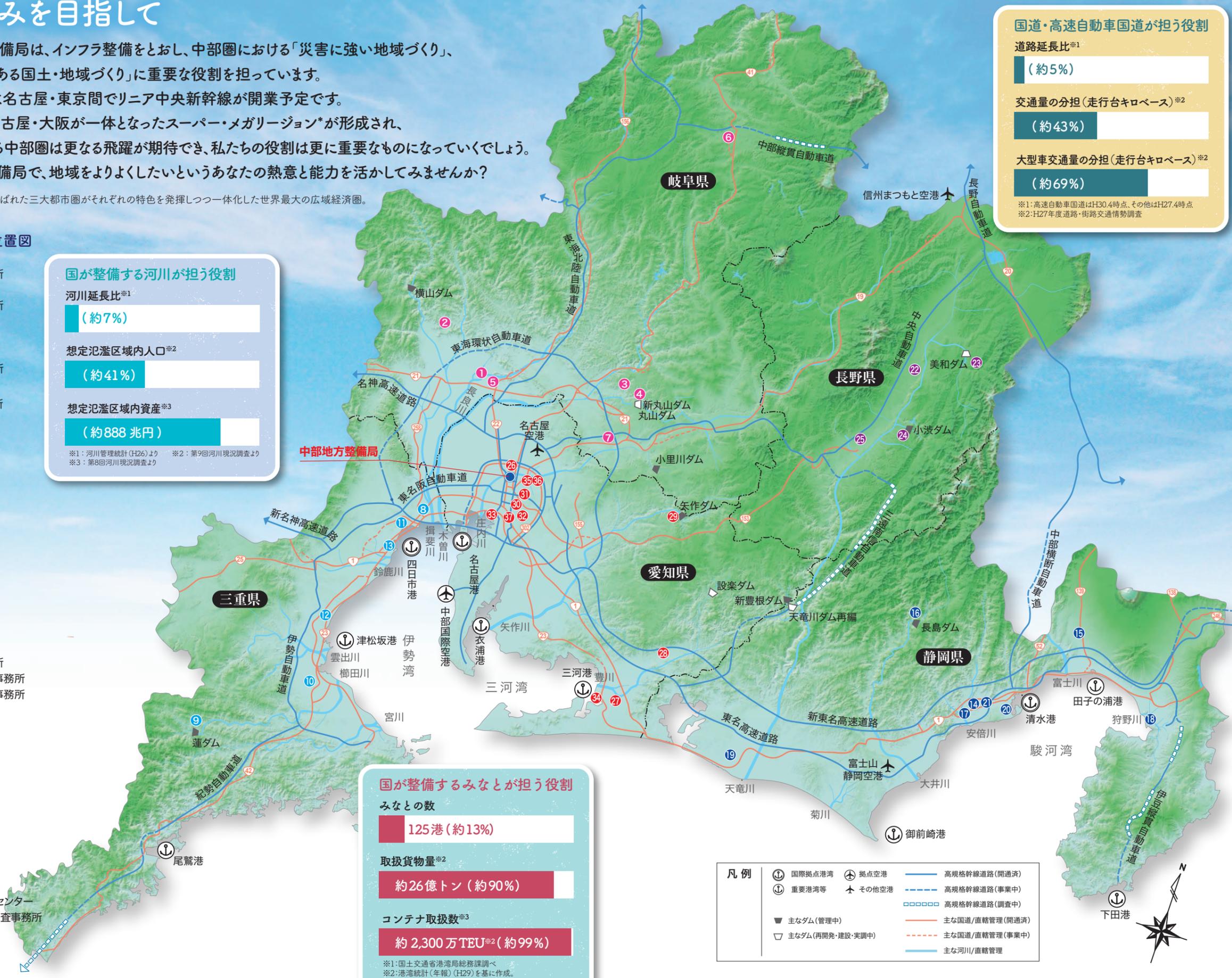
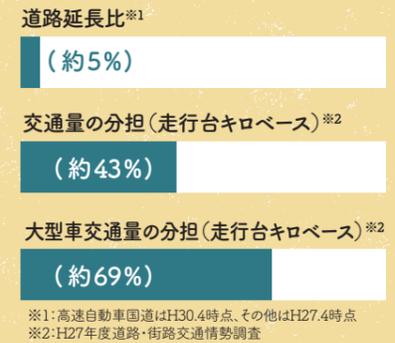
国が整備する河川が担う役割



国が整備するみなとが担う役割



国道・高速自動車国道が担う役割



Contents

- 河川関係事業 3
- 道路関係事業 5
- 港湾関係事業 7
- 建政関係事業 9
- 営繕関係事業 10
- 情報通信・電気関係事業 11
- 機械関係事業 12
- 防災関係事業 13
- ワークライフバランス 15
- 女性職員の活躍 16
- キャリアアップ 17
- 事業の流れ 19
- 若手職員の日常 21
- 若手職員アンケート 22
- 若手職員のVOICE 23
- 研修体制 25
- Q&A 26

中部地方整備局 リクルートイメージキャラクター



今後
リクルートイベント等で
登場します!

※パンフレットで紹介している職員の所属および
現職は平成31年3月時点のものです。



事業紹介 河川 誰もが安心して暮らせる地域に



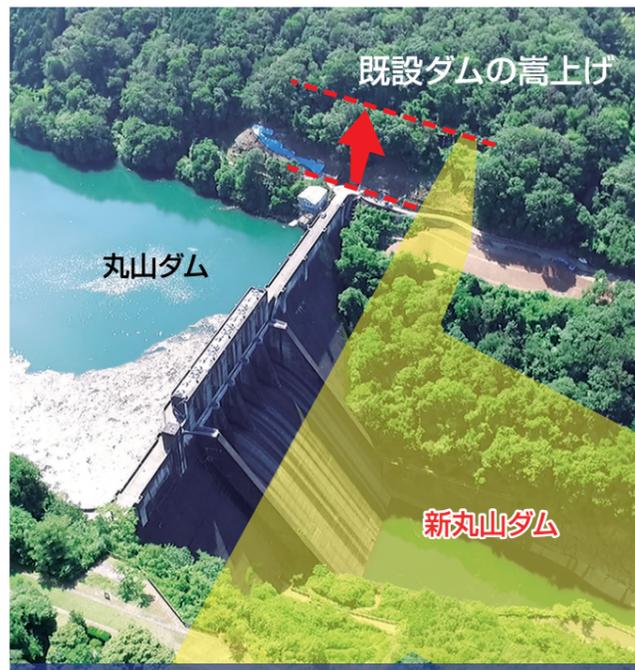
事業紹介 河川

事業紹介 河川



堤防耐震対策事業

中部地方は、日本最大の海拔ゼロメートル地帯である濃尾平野が広がっており、また、その地盤は非常に脆弱です。この地域は巨大台風の来襲による大水害、南海トラフ巨大地震等の発生が危惧されています。ひとたび、巨大地震が発生すると、地盤の液状化により堤防が破壊され、津波や高潮による被害が生じるおそれがあることから、生命や財産を守るために堤防の耐震対策を実施しています。



新丸山ダム建設事業

新丸山ダム建設事業は、昭和30年度に完成した既設丸山ダムの機能を増強するため、ダムの下流側に国内最大級の嵩上げを行う事業です。工事期間中もその働きを持続しなければならず、その機能を維持しつつ、大規模な嵩上げをした前例はないため、設計や施工方法など技術的に先駆的な事業です。



由比地区地すべり対策事業

南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、重要な幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されることから、地すべり対策を実施しています。



海岸保全施設整備事業

我が国最深の駿河湾は、海底勾配が急峻であることから、波の力が衰えることなく押し寄せやすい地形です。高潮・波浪から生命や財産を守るため海岸保全施設の整備を実施しています。



環境整備事業

多様な生物が生息できる良好な河川環境を保全・再生するとともに、地域のにぎわいの場の創出や、水辺へのアクセスを良好にする等、親しみのある水辺空間の整備を行っています。



出水に備えた取組

水防団等との連携や、出水時の情報提供等に対応するため、堤防決壊時の緊急対策シミュレーションなど、日頃より自然災害に対する訓練を実施しています。



防災意識・環境保全意識向上の取組

自然災害から命を守るための能力を養うため、小学校等において防災教育を実施しています。また、環境保全の意識向上を目的として、河川を活用した環境学習を実施しています。



専門家による報道機関への情報発信

河川の水位情報等を監視し、インターネット等を通じて住民に情報提供をしています。大雨等の非常時には、住民の避難行動につなげるため、川の水位などの情報をスマートフォンなどに緊急速報メールとして送信する取り組みを実施しています。

緊急速報メール



平成元年度入省 (土木)
河川部 水災害予報センター
水災害対策専門官
岩田 伸隆さん

河川事業は、「災害から人命と財産を守る。」という非常に重大な使命を持っています。私達は、その使命を果たすために、堤防・ダム等の施設整備（ハード対策）、住民避難の支援等（ソフト対策）を展開。私はソフト対策を担当しています。
洪水時に気象庁と洪水予報を発表し、市町村の避難情報発表を支援、緊急速報メールでの洪水情報のプッシュ型配信、河川情報のきめ細やかな配信など、住民の主体的避難促進により、犠牲者ゼロを目指す重要な仕事です。
河川事業は、ハード・ソフトと本当に幅広いです。
この幅広い仕事、国ならではのビッグプロジェクトのなか、あなたの「やりたいこと」が必ずある！
さあ皆さん、「中部地整河川部」へどうぞ！



平成27年度入省 (行政)
河川部 水政課
杉野 都さん

河川部水政課では、河川に関する法令の解釈や許認可等の事務を行っています。その一員である私は「水利権」の許認可事務を担当しています。水利権とは、水力発電や農業、水道、工業用水などの目的のために、公共の資産である河川の水を利用することができる権利です。私は水利権の申請が適正か審査を行う仕事をしており、デスクワークが中心ですが、時には水利施設であるダムの検査のために、山間部の現場へ行くこともあります。
「水利権」という言葉を今まで聞いたことがない方も多いと思いますが、実は私たちの生活を支える水に関するとても身近で重要なものです。重要であるがゆえに許りに携わる責任の重さを痛感しますが、関係部署と連携して許可処分が完了したときは大きな達成感ややりがいを感じています。

道路

まんなかで日本をリード
～未来の暮らしの礎を築く～

名古屋環状2号線(名古屋西～飛鳥) 飛鳥大橋

三遠南信自動車道 天龍峡大橋



道路の新設・改築 (東海環状自動車道 大野神戸IC)

愛知・岐阜・三重の3県を結ぶ東海環状自動車道の整備により、広域的にもっと便利になります。道路沿線には、自動車産業をはじめとする企業進出が進み、「ものづくり中部」がもっと元気になる等、道路の整備により物流ネットワークの強化をはじめ、防災機能の確保、地域間の連携を支援しています。



大規模な工事

国だからできる大規模な工事を体験することにより、技術者として幅広い知識を得ることができ、皆さんの成長に繋がります。



道の駅

「道の駅」は、休憩、情報発信、地域連携、防災拠点の機能を有し活力を生むため、地域と連携して整備しています。



道路の維持管理

誰もが安心して道路を利用できるよう、道路巡回、清掃、除雪等の日常的な維持作業や、施設点検の結果を踏まえた計画的な補修工事、大規模災害に備えた防災対策等により、日々の暮らしを支えています。



安全対策

歩行者、自転車、自動車など、道路を利用するすべての皆様が、交通事故のリスクを低減できるよう、自転車道、歩道整備等の交通安全対策を実施しています。



けんせつ小町「チーム愛」

幅広い業種・世代の女性技術者の交流を図る等、女性が働きやすい建設現場の環境整備に取り組んでいます。

※「チーム愛」：愛知国道事務所の取り組みとして、事務所職員と建設企業の女性技術者で結成



平成27年度入省
(土木)

道路部 交通対策課
渡辺 絵理子さん

今大型車を利用した物流は私たちの生活に欠かせないものになっています。私は現在、その大型車通行の許可に関する仕事をしています。

大型車は普通車に比べ、タイヤの大きさや車体の長さが大きく違うため、自由に走行できるわけではありません。交差点は曲がれるのか、狭い道路は通れるのか…等を確認し、許可を発行しています。時には難しい案件もあり、判断を誤ると大事故につながりかねないため責任のある重要な仕事だと実感しています。

今回紹介したのは、道路事業のほんの一部です。他にも環境調査や工事発注等私たちの仕事は多岐にわたります。私自身今後どんな経験を積めるかとても楽しみです。色々な経験を積みたい方にはとてもオススメの職場です。



平成27年度入省
(行政)

道路部 路政課
森田 優太郎さん

無電柱化の取組みはご存じでしょうか。道路上には、許可を得て設置された電柱がありますが、それらは地震などの災害で倒壊すると、緊急車両の通行や地域住民の方々の避難に支障をきたすおそれがあります。また、美しいまちなみ等の景観を阻害することもあります。

そこで、国土交通省では無電柱化に取り組んでおり、その中で、私は「電線共同溝事業」と「占用制限区域の指定」に携わっています。

「電線共同溝事業」とは電線を道路の地下空間に埋設するもの、「占用制限区域」は指定した道路に電柱の新設を認めないとするもので、いずれも無電柱化の推進に寄与するものです。すぐに効果が目に見えるものではありませんが、道路の将来の姿を思い浮かべながら日々取り組んでいます。



事業紹介 港湾

中部の暮らしを支える港湾

富士山とコンテナ船(清水港)

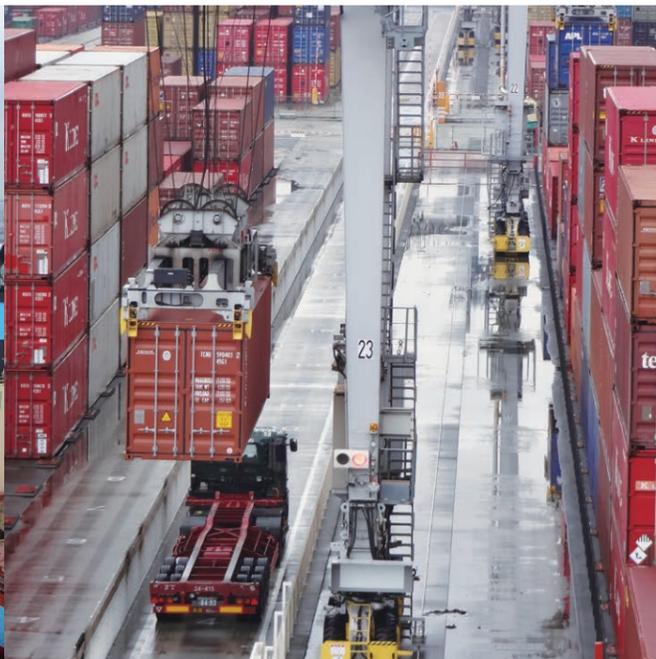


眠らない港(四日市港)

事業紹介
港湾



コンテナ船の岸壁着岸(名古屋港)



コンテナの吊り上げ(名古屋港)

現在ではコンテナに入らない品物はないと言われるほどコンテナには食品(水産物、加工品)、機械部品、衣料品、紙・パルプなどが入り、コンテナによる輸送は、私達の豊かな暮らしを支える上で、必要不可欠なものとなっています。



名古屋港に入港したマリナー・オブ・ザ・シーズ



清水港に入港したスーパースター・ヴァーゴ

クルーズ船で訪れる外国人は年々増加しており、中部地域においても年間約60隻程度のクルーズ船が寄港しております。世界最大級のクルーズ船は一度に4000人以上の乗客を運ぶことができ、乗客が寄港地周辺の地域観光、食事、買い物をする事で地域経済の活性化に貢献しています。



防波堤(清水港)

台風・高潮から港を守り、一年を通じて荷物の積み卸しを円滑に行うため、防波堤の整備を進めています。 ※ケーソンとは、防波堤や岸壁をつくる際に使われる鉄筋コンクリートでできた箱のことです。



ケーソン据付(三河港)



自動車運搬船への積み込み(名古屋港)

大型化するコンテナ船、完成自動車を輸出する運搬船や大型クルーズ船に対応した岸壁の整備を進めています。



鋼管杭打設(名古屋港)



海岸堤防の改良(津松阪港)

昭和34年の伊勢湾台風後に整備された海岸堤防が老朽化しているため、海岸堤防の整備を進めています。



四日市・いなばポートラインの整備

コンテナにより運ばれた品物を消費地へと円滑に輸送するための臨港道路を整備しています。



平成11年度入省
(土木)
名古屋港湾空港
技術調査事務所 係長
高須 貴子さん

私は、「海の世界に携わりたい」と思い入局しました。今は、港湾施設に関する技術開発や伊勢湾に浮遊する流木等を回収するための海洋レーダを用いた流況観測に携わっています。業務の中では専門外の電波や電子機器等の知識も必要となりますが、新たな分野に従事できることは一番の魅力であり、やりがいを感じています。

また、この事務所では、巨大な伊勢湾模型を使った模擬津波実験などの見学ができます。夏には見学会を開催しており、私の子供はこれに参加したことで私の仕事や働く環境を理解してくれるようになりました。

私は入局当初、育児休暇を3度も取ることは想像もしていませんでしたが、職場には理解ある上司や同僚がおり、安心して仕事に取り組めます。



平成15年度入省
(土木)
三河港湾事務所
企画調整課 係長
森下 倫明さん

私は、現在、愛知県にある三河港や衣浦港の将来計画に関する仕事に携わっています。私がクリクルート活動をしているときに、日本に輸出入される貨物の99.7%は港を利用していることを知り、是非、「ものづくり中部」の経済活動や生活を支える港湾のインフラ整備に関わりたいという思いから、中部地方整備局への入局を希望しました。

入局後は、神奈川県にある国土技術政策総合研究所へ出向し、港湾整備に関する新たな設計手法の研究に携わりました。また、東京都にある国土交通本省でも全国港湾の新規事業や予算に関する仕事をしました。

中部地方整備局の仕事は多岐にわたり、とても大きな仕事に携わることが出来ます。また、様々な業務を通じて自分のスキルを伸ばすことが出来るので、非常にやりがいを感じられる職場です。

事業紹介
港湾



都市の課題に即したまちづくりを応援します

事業紹介

建政

ささしまライブ24土地区画整理事業(名古屋市)

わが国は、これから人口が減少し、超高齢社会を迎えようとしています。多くの人にとって暮らしやすいまちを目指し、公共交通の活用により「歩いて暮らせるまちづくり」を推進しています。建政部は、安全・安心の確保、豊かな活力ある地域づくりに貢献するために、1. 国営木曾三川公園の管理・整備、2. まちづくり・住まいづくりの支援、3. 建設産業等の健全な発展に関する業務を担当しています。コンパクトなまちづくりや地域資源を活用したまちづくりに意欲的に取り組む自治体を積極的に応援しています。



市街地再開発

高島屋南地区第一種市街地再開発事業(岐阜県岐阜市)

中心市街地の再生・活性化など、土地の合理的かつ健全な高度利用による都市機能の更新及び都心住居の促進を支援しています。



国営木曾三川公園

木曾川・長良川・揖斐川の木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、設置された国営木曾三川公園は、全国の国営公園の中で入園者数が最も多い公園となっています。今後も魅力的な整備を進めています。



歴史まちづくり

電線類地中化支援(岐阜県恵那市)

朝ドラのロケ地としても話題になった歴史的なまちなみ。次世代に継承すべき地域固有の歴史的文化的資産の維持・向上、それらを活用したまちづくりを支援しています。



空き家の活用

(岐阜県瑞浪市)

居住環境の整備改善を図るため、空き家住宅又は空き建築物の活用等に対し支援します。



建設若者塾

建設業界の担い手の確保・育成に向けて、産学官で連携して様々な取組を行っています。離職防止を図るために同世代のネットワークづくりの場を作ったりしています。



平成11年度入省
(土木)
建政部 都市整備課
主任
谷川 阿由美さん

人口減少が進む中、あなたはどんなまちに住みたいですか？子育てしやすいまち、交通の便が良いまち、災害の心配がないまち、それとも、いつも賑わいのある通りがあって出掛けたいまちでしょうか？

電柱の無い広い歩道、誰もが安心して歩ける道、様々なイベントに人々が集う広場や公園、そんなまちづくりを実現するための支援を国土交通省は行っています。

都市整備課では、自治体がそれぞれ描くまちの姿を実現する為のお手伝いをしています。

自治体が抱える問題は様々です。それらを解決するためのまちづくりには時間もお金もかかりますが、整備が終わり、人々が賑わう通りや公園を見ると、地域の魅力あるまちづくりに自分も微力ながらお手伝いできたかなと嬉しい気持ちになります。

私達と一緒に、中部のまちを元気にしていきますか。



平成28年度入省
(行政)
建政部 計画管理課
篠田 健一郎さん

私たちが快適に生活するためには、道路・公園・下水道等の都市施設の整備が求められます。私は、自治体が整備する施設の事業計画の妥当性などを審査し、施設整備にあつた自治体支援を行っています。

都市施設の整備に携わることを通じて、より良いまちづくりに貢献できる点に大きなやりがいを感じています。また、新たな道路や公園の整備によるまちの活性化が目に見える形で実感できる点もこの仕事の魅力の1つです。自分の仕事によって、皆さんが住むまちを活性化させ、地域に貢献できるのは、建政部の仕事の大きな特徴です。

皆さんも中部地方のまちづくりに貢献し、大きなやりがいを感じられる建政部の仕事に、一緒に取り組んでみませんか。



災害に強く、ひと・まち・環境にやさしい公共建築

事業紹介

営繕



まちづくりとの連携(高山地方合同庁舎整備イメージ)



高山市シビックコア地区

地方公共団体等と連携した官庁施設の整備により、地域の個性を尊重した魅力あるまちづくりに貢献します。シビックコア地区整備制度は、都市拠点や良好な市街地環境の形成に寄与しています。



耐震改修、津波対策(清水港湾合同庁舎)

国の行政機能は、いかなる状況でも停止することが許されません。官庁施設の耐震化や防災拠点の整備を通じて地域の安全・安心を支えています。



平成11年度入省
(建築)
営繕部 調整課 係長
松浦 賢太さん

私が所属している営繕部調整課では、数ある国の建物をエリア毎に、合同集約化や地方公共団体との合築といった長期的な視点で建替え時期の検討を行い、整備計画を立案していく仕事をしています。

私たちの仕事は、多種多様な国の施設を管理する各省庁の方々と二人三脚になって事業を進めています。

施設を整備するにあたっては、施設管理者(各省庁)、施設利用者(国民)、設計者、施工者といった、多くの方々と目標を一つにして、実現していくことになります。そういった色々な人たちとの出会いや繋がりが、この仕事の魅力だと感じています。

ぜひ皆さんと一緒に、同じ目標に向かって仕事ができることを楽しみにしています。



平成29年度入省
(建築)
営繕部 整備課
古市 英恵さん

営繕部整備課では、国の建物の新築や改修工事の設計を行っています。私の中でも建築設計審査業務を担当しています。国の建物の中には、災害時に防災拠点となる国道事務所や、不特定多数の人たちが利用するハローワークなど様々な種類があります。国の建物は国民の共有財産であるため、一定の技術基準を確保させる必要があります。施設管理者や担当者調整を行いながら、公共建築の基準を満たした設計がされているか詳細に図面を審査しています。設計が終わり工事に入ると、設計変更の対応を行うなど、計画・設計段階から建物が完成するまで携わることができます。

職場では分からないことがあっても上司に気軽に相談できるとも良い環境です。ぜひ一緒に働きましょう！



木材利用

低層の公共建築物の木造化を図るほか、エントランス ホール等において内装を木質化することで木材の利用を推進しています。



情報通信技術を中部の未来のために

情報通信・電気

事業紹介

事業紹介 情報通信・電気



信頼できる安定した情報通信基盤

国土・社会インフラ管理には、様々な情報通信技術が活用されています。中部地方整備局管内においても、専用の多重無線回線と光ファイバ回線による強靱なネットワーク網や情報システム、電気設備等を構築し、インフラ管理や防災、減災のための迅速な情報収集、的確な情報提供を可能にしています。また、ICT、AI等を活用した業務の効率化、簡素化や、再生可能エネルギーの活用促進等に向けた検討も実施しています。



迅速な情報収集

通常時はもとより、災害発生時においても様々な設備を用いて迅速に情報収集を行えるようにしています。収集した膨大なデータは、サーバで一元管理しています。



的確な情報提供

情報表示板、インターネット、地上デジタル放送等を介して、必要な情報をより的確に利用者へ提供しています。



確実な電力供給

予備電源設備により、停電時においても情報通信設備等に電力を確実に供給します。



平成12年度入省
(電気・電子・情報)
企画部
情報通信技術課 係長
三輪 光弘さん

私たちが管理している設備は、通信ネットワーク、情報システム、電気設備など様々です。全職員が完璧な知識を持っている訳ではなく、各々得意とする技術、知識を持った職員が互いに連携しながら、組織として幅広い技術力を発揮しています。

私は、自治体などの防災関係機関や研究機関等との情報連携を強化するための技術的サポートを行う任務にあたっています。そこでは、技術のニーズが年々高まっていることを実感しています。平成26年に発生した土石流災害や御嶽山噴火災害の際には、迅速に情報を収集、関係機関に映像情報等を提供し、二次災害の防止に寄与しました。

私たちの任務が、国民の人命財産保護の一翼を担っていることに誇りを感じます。



平成29年度入省
(電気・電子・情報)
静岡国道事務所
防災情報課
中山 百合子さん

私は現在国道管理に必要な電気通信施設の維持管理をしています。電気通信施設と言っても情報板など普段皆さんがよく目にするものから、CCTVカメラ、トンネル内部の監視をするシステム等まで、道路管理を円滑に実施するための幅広い電気通信施設の維持管理をしています。

電気通信施設を新設、更新するための設計や工事発注、管理といった一連の業務にも携わることができ、自分の意見も反映されやすいため、やりがいを感じます。

また災害発生時においても、電気通信施設は現場の情報収集のために重要な存在となります。このように電気通信施設は日頃から住民の皆さんの安全を守るためには不可欠な存在です。是非一緒に働いて住民の皆さんの安全を守っていきましょう。



機械

事業紹介

「機械」と「技術」で地域の暮らしを支える

事業紹介 機械



災害対策支援(令和元年東日本台風(台風第19号))

東北地方整備局・関東地方整備局管内への内水排除支援として、中部地方整備局からは排水ポンプ車26台、照明車11台を派遣しました。

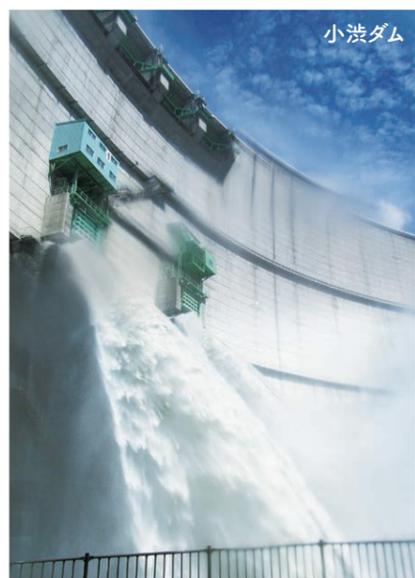


平成7年度入省
(機械)
企画部 施工企画課
係長
大谷 賢治さん

国土交通省では、河川や道路の維持管理を適に行うための特殊な建設機械や、災害対策用建設機械を保有しています。

私の仕事は主に、これらの建設機械に限られた予算で効率よく運用できるよう、管内の各機械の配備計画、予算要求、建設機械の購入手続きや仕様の検討等を担当しています。また災害発生時には、災害対策用建設機械等の派遣調整等を行います。建設機械で日々行われる作業や災害対応は、地域住民の生活に密着し、安全と安心を支えていると感じています。

皆さんの持つ様々なアイデアが、維持管理や防災への課題解決に役に立つかもしれません。少しでも整備局の仕事に興味を持たれたら、業務説明会に足を運んでみてはいかがでしょうか。



小浜ダム



境川排水機場



小坂久々野トンネル

ダム放流設備、排水ポンプ設備、トンネル換気設備

洪水調節や河川環境の保全のためにダムから水を放流するダム用水門設備、私たちの住んでいる街に水が溢れないように内水を排除する排水ポンプ設備、車両の排気ガスをトンネル外に流すトンネル換気設備(ジェットファン)など、様々な機械設備を整備しており、定期的に整備を行うことで、いつでも動かせるよう、万全の状態に管理しています。



平成29年度入省
(機械)
浜松河川国道事務所
防災課
水越 陽菜さん

国土交通省が整備している社会インフラにおいて、機械設備が機能を果たして確実に稼働することで皆様の安心安全で快適な生活を支えています。

機械職員は機械設備の設計、積算、施工、工事監督、維持管理をしています。稼働することで社会インフラの計画された能力を最大限に発揮させることができる機械設備の設計は完成したものを想像するだけでも楽しいものがあります。

皆様の命や生活、財産を守るため、非常時には排水機場や水門、トンネルのジェットファンや消火栓が確実に稼働するよう点検結果を元に適切な整備をし、維持管理していく大変重要な役割を担っています。

実際に発注した機械設備が機能を果たして正常に稼働するのを見て、嬉しさと同時に機械設備の重要さを感じ、責任ある仕事にやりがいを感じています。

防災

大規模災害に備えて確かな防災力を追求



災害対策本部

中部地方整備局管内をはじめ、全国各地で発生した災害情報をいち早く収集し、適切かつ早急に指示・情報発信を行います。災害対策本部室では、管内にある3,000台の監視カメラ(CCTVカメラ)の映像や防災ヘリコプターからの映像をリアルタイムで見ることができます。



防災ヘリコプター まんなか号

発災直後に、迅速な情報収集を行うために、ヘリコプターを運用しています。高性能テレビカメラを搭載し、衛星回線を通して災害対策本部に映像を送信します。調査には職員も搭乗し、対応にあたります。



排水ポンプ車

発電機と排水ポンプ、ホースなどを搭載し、浸水被害現場へ出動し、排水作業を行います。令和元年8月の前線に伴う大雨や令和元年東日本台風(台風第19号)では、河川の氾濫により浸水した地域に排水ポンプ車を派遣し、早期復旧に貢献しました。



ドローンによる被災状況調査

二次災害の恐れがある危険箇所や地形的に立ち入り困難な箇所の調査を行う際には、ドローンを利用します。令和元年東日本台風(台風第19号)においても、TEC-FORCE隊員がドローンを活用し、情報収集にあたりました。



TEC-FORCE ~緊急災害対策派遣隊~

大規模な自然災害が発生した場合に、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧、災害応急対策に対する技術的支援を行います。隊員は、全国の国土交通省職員で構成され、中部地方整備局でも多くの職員が隊員に任命されており、様々な活躍をしています。



南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

南海トラフ巨大地震が発生した場合に、いかにして地域を守るか、被災地の一日も早い復旧をどう進めるか、中部地方整備局が中心となって、企画や運営を行っています。会議には、中部地域の国、地方公共団体、学識経験者、経済界等の135機関が連携し、成果の共有を図るとともに、一体的な対策を推進しています。



防災訓練
(南海トラフ巨大地震防災訓練)

南海トラフ巨大地震などの広域かつ甚大な被害に備え、自衛隊、警察、県、市などとともに、各機関の役割、連携体制の強化を目的とした防災訓練を実施しています。



防災意識の啓発
(ぼうさいこくたい2019@NAGOYA)

産学官民の連携により、南海トラフ地震から日本の経済と産業、地域社会と住民を守ることを目的として、ハイレベルセッション「南海トラフ巨大地震へのソナエ」を開催(R1.10)しました。



平成22年度入省
(土木)
木曾川下流河川事務所
調査課 係長
村橋 由利子さん

地震、台風等の大規模災害が発生した場合に、被災された皆様が少しでも早く日常生活に戻れる様、被害の把握を行い、迅速な復旧につなげるのがTEC-FORCEの使命です。

私は平成28年8月の台風10号により被災した東北地方に派遣され、現地状況を調査している隊員からの情報収集や他地整との調査箇所調整を行いました。大規模災害発生時に全国から職員が終結し、被災箇所の調査を行い、復旧方法の立案を行う技術力は国土交通省ならではと言えるのではないでしょうか。

被災された方に日常を一日でも早く取り戻す手助けを行い、再度災害が起こらないよう対応する仕事はとてもやりがいを感じます。



平成28年度入省
(行政)
防災室
市川 琢朗さん

私の業務は、災害時と平常時で大きく異なります。災害時は、災害対応の中心となる災害対策本部の運営や被災地へのTEC-FORCE派遣に関する業務を行います。平常時には近い将来必ず起こると言われる南海トラフ巨大地震に対して、被害や経済への影響を最小にするために、関係者が一体となって対策を考える南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の運営などを行っています。

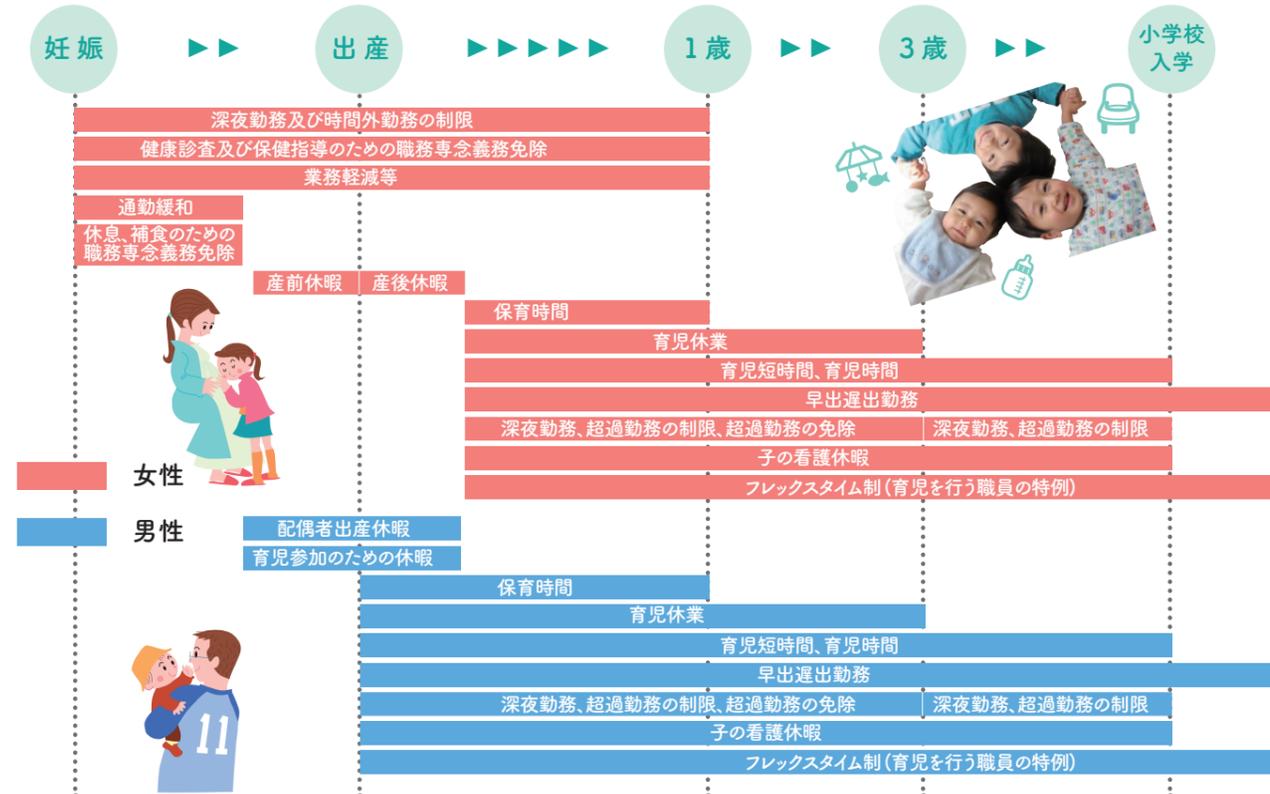
常に災害と隣り合わせの部署で、人命や住民生活に直結する業務が多く、その責任の重さに悪戦苦闘することもあります。「中部地域の住民が安心して暮らせるためのお手伝いをする」という使命感を持ちながら日々業務に取り組んでいます。

柔軟な発想とはつらつとした元気を持った皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています!

中部地方整備局では、ワークライフバランスを推進し、男性も女性もともに働きやすい職場となるように、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組んでいます。



仕事と育児の両立を支援するために整備されている様々な制度



平成17年度入省（行政）
新丸山ダム工事事務所 総務課 係長
栗本文恵さん

利用した制度及び期間

産前産後休暇…H27.1.16～H27.6.4
育児休業……………H27.6.5～H29.3.31
育児時間……………H30.1～現在

私は産前産後休暇と2年間の育児休業を取得してから職場に復帰しました。入省時から、育児休業や育児時間を利用して仕事と育児を両立している職員が同じ職場におり、そんな姿を自然に受け入れていたので、育児休業中、私も育児時間を利用して働くことを想像していました。復帰が近づき、忙しい職場で育児時間の利用に不安が出てきましたが、上司に相談すると「子どものことを一番に考えて」という言葉をいただき、安心して復帰することができました。

現在は、保育園の迎えのために育児時間を1時間取得し、休憩時間の短縮も利用しています。職場では、帰りの時間や子どもの体調に気遣ってもらい、本当に感謝の日々です。こうして支えてもらいながら、仕事も一生懸命に、育児も大切に毎日を過ごしています。

平成15年度入省（土木）
河川部 河川計画課 係長
高井 徹さん

利用した制度及び期間

育児休業……………H29.8～H29.9

私は2人目の子供が生まれるときに育児休業を取得しました。1人目の子供が生まれた後の数ヶ月間が想像以上に大変だったからです。本当に大変なのは女性で男性は少しのお手伝いしかできません。私は赤ちゃんが泣いても気づかない、眠くて起き上がれない時が多々あったと思いますが、母親の代わりはおらず、妻が必ずお世話をしています。

育児休業を取得して良かったことは、一番大変な時期に育児参加できたこと、実感ができたこと、家族が増えて不安定になりがちな2歳の長男と一緒にいることができたことです。

私にとって仕事は大事ですし、家族はもっと大事です。それらのバランスをとるための制度、環境が整っている職場だと思います。仕事も子育ても周囲の協力があってこそ出来るものですので、感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。

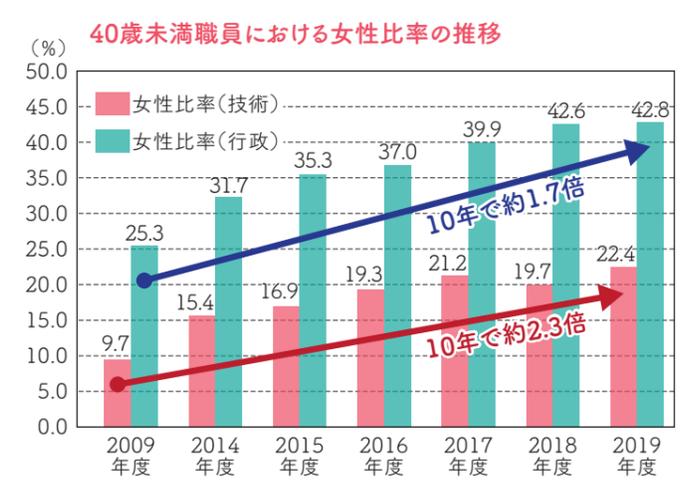


活躍中の女性たちの真剣な眼差しや輝く笑顔が溢れています！

近年、女性の活躍がめざましいなか、当局では女性職員が年々増加しているとともに、性別に関係なく活躍できる場が広がっています。

中部地方整備局の女性の働く割合は40歳未満で事務系職員が約40%、技術系職員が約20%です。技術系職員はまだ少ないように見えますが近年1～5年目の技術系職員は約30%を占めています。技術系職員で入省しても家庭と両立しながら活躍している女性職員もたくさんいるので技術系の女性の方でも安心して入省できます。

県域を越えたスケールの大きいインフラ事業や防災事業など“中部の未来”へ、そして“日本の未来”へつなげる仕事を私たちと行いませんか？



昭和60年度入省（行政）
河川部 建設専門官
尾畑 三幸さん

経歴

S60.4.1 ●用地部 用地第一課 採用
H19.4.1 ●中部技術事務所 総務課 研修係長
H25.4.1 ●庄内川河川事務所 占用調整課長
H30.4.1 ●河川部 建設専門官

私は事務系職員として、総務、経理、河川管理等の様々な業務を経験してきました。

現在は、主に河川関係の訴訟担当として、国が当事者となる行政訴訟、国家賠償請求訴訟等の事実調査や書面の作成を行っています。場合によっては、「国の指定代理人」として裁判所へ出向き、訟務活動を行うこともあります。私は法律を専門に勉強したわけではありませんが、仕事を通して学ぶ機会を得て、周りの人々と協力し合い業務に取り組んでいます。

女性にとって結婚、妊娠、出産、育児、介護等のライフイベントは、仕事を続けていく上で大変な事ではありますが、その時々に必要なサポートを受けながら、がんばっている職員がたくさんいます。女性のもつ可能性を引き出すことのできる職場であり続けるために、私も努力を続けたいと思います。

平成11年度入省（農業土木）
建設部 都市整備課 係長
野村 三奈さん

経歴

H11.4.1 ●沼津工事事務所 工務第三課 採用
H25.4.1 ●木曾川下流河川事務所 海津出張所 技術係長
H27.4.1 ●木曾川上流河川事務所 河川公園課 公園係長
H30.4.1 ●建設部 都市整備課 公園係長

国土交通省と聞くと、道路や河川、港湾事業を想像されると思います。私は入省以来、主に河川の管理や環境に関わる仕事をしてきましたが、現在は国営公園の整備と維持管理を行っています。

人々のレクリエーションの場として、安心安全に遊び、心身ともにリフレッシュできる場となることを目標に日々努めています。数あるレクリエーション施設から、この公園を選び来園してくれた方に「楽しかった、また来たい」と満足していただけたときは本当に嬉しく、やりがいを感じます。

中部地整の仕事は、私たちの生活に様々な形で密接に関わっています。ここでは土木の知識はもちろんですが、女性としての感性や母親としての目線など、活かせる感覚がたくさんあります。

受験生の皆さん、中部地整で自分の知識や感性を思う存分発揮しながら、自分らしくできる仕事をみつけませんか？一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています。

※職員の経歴は一部抜粋しています。



平成28年度入省 (行政) 天竜川上流河川事務所 砂防調査課 福川 湧也さん

「多くの人の幸せに貢献できる仕事をする」というのが、私の学生時代からの目標です。インフラ整備を通じて、地域の方々の生活を支える中部地方整備局に魅力を感じ、平成28年度に入局しました。

現在所属している砂防調査課は、土砂災害から地域の皆さまを守るため砂防設備の配置検討・計画を行っています。事務所がある伊那谷地方は、過去に36災害という大災害を経験しており、地域からの大きな期待に応えるため、職員は熱い想いを持って働いています。文系学部出身の私も、チーム砂防として専門性の高い事業に関わっており、チャレンジングな毎日を送っています。

この職場でなら、自分が成長することで、今より一層多くの人の幸せに繋がる仕事ができると確信しています。みなさんも一緒に中部地方整備局で、誰かの幸せに貢献しませんか？



平成17年度入省 (行政) 豊橋河川事務所 占用調整課 係長 神谷 真生さん

学生時代に、道路等のインフラの管理に携わりたいとの思いから、整備局を志望しました。

現在携わっている業務は河川の許認可業務です。例えば、洪水時に河川敷のサッカーゴール等が流され、思わぬ災害を起こすことがあります。そのような事態を防ぐために様々な法令・基準に基づき審査をする業務です。

整備局に入れば、道路を開通させたり、堤防を作ったりする大きな仕事もできますが、完成したインフラを適切に維持・管理することで地域を守っていく「インフラの番人」にもなれます。地味な仕事かもしれませんが、安心して利用できる道路や河川を守る裏方というのも、誇りある仕事だと思います。

他にも整備局には様々な分野の仕事があります。自分の得意分野を伸ばすことも、未経験の分野に挑戦することも、皆さんの意志一つで可能になる職場です。是非チーム整備局に入っていたら、一緒に働きましょう！



平成6年度入省 (行政) 愛知国道事務所 経理課 課長 河村 いづみさん

人の役に立つ仕事をずっと続けたいという思いと、元気な職場という印象から、整備局を選びました。

これまでに、総務、経理、管理、広報分野の業務を経験しました。行政職とは言っても、業務内容は幅広く、同じ業務でも条件や状況に応じた検討や判断が求められます。どの部署でも新しい知識の習得が必要で、簡単なことばかりではありませんが、頼りになる先輩や仲間を支えられ、新しいことにチャレンジし経験を積むこと、学び活かすことに喜びを感じています。

整備局は、河川、道路等の社会資本を整備し、地域のみなさんの安全で安心な暮らしを下支えする役割を担っています。そしてそれは、事務系職員と技術系職員の協力で果たしていると思います。それぞれの専門性を活かし、チーム力を発揮し、男性も女性も活躍できる元気な職場です。

地域のみなさんの生活に直結した、未来につながる仕事を、一緒にがんばりましょう！！



昭和61年度入省 (行政) 総務部 人事計画官 笥 豊勝さん

この職場に就職して33年。色々な地域で色々な仕事を経験してきました。仕事がかまうかきかずに悩んだときもありましたが、新しい仕事を任されて楽しくて仕方が無いときもありました。

今振り返ってみると、こんなにやりがいのある仕事はないと思っています。中部地方整備局が担っている仕事は地域の安心・安全に欠かせない仕事であり、地域の発展のためにも重要な仕事です。簡単な仕事ではないかもしれませんが、世の中のためになる、とてもやりがいのある仕事です。また、仕事はひとりで出来るものではなく多くの職員がチームとなって行うものであり、チームで取り組むからこそ、それを達成したときの喜びも大きいものだと思います。

あなたも私たちチームの一員に加わり一緒に仕事をしませんか。きっと貴方も何十年か後に、この職場で働いたことを誇りに思える時が来ると思います。

20代 係員クラス

20代、係員クラスは 関係部署との連絡調整や上司の指示に従い業務に携わります。

30代 係長クラス

30代、係長クラスは 資料作成や関係部署との連絡調整といった具体的な業務の責任者となります。部下への指導も重要な役割です。

40代 管理職クラス

40代、管理職クラスは 課の責任者として、課全体のマネジメントを行います。

50代 幹部クラス

50代、幹部クラスは 局や事務所の責任者として組織の意思決定や指揮・命令を行います。



平成29年度入省 (化学) 木曾川下流河川事務所 調査課 森岡 南帆さん

私は大雨による水害や高速道路の開通を経験したことから、社会資本整備の重要性を実感し入省を希望しました。現在は、木曾三川の河川計画に携わる仕事をしています。業務を通して、歴史ある河川であること、災害時に周囲に与える社会的影響が大きいことを学び、責任とやりがいを感じています。

入省して2年目のため、まだまだ分からないことも多いですが、経験豊富な上司の方々が丁寧に教えてくれます。職場の雰囲気もとても明るく活気があるため、困った時などは周囲の人に相談しやすいです。また、同年代の職員も多いため、それぞれの仕事のことや日常生活のことなどを情報交換しています。

今後も、様々な分野の業務に積極的に挑戦し、知識と経験を身につけていきたいです。そして、中部地方の安全・安心・発展に貢献するような仕事ができるよう精一杯努力していきたいと思っています。



平成20年度入省 (土木) 三重河川国道事務所 調査課 係長 細野 将輝さん

中部地方整備局の仕事の魅力は、自分たちが計画や設計をした工事によって水害や地震から大切な場所や人の命を守ることができることです。

私は河川系の職務についており、中でも洪水時の逃げ遅れゼロを目指し、市町の防災部局と連携しながら取り組みを進めています。近年、各地で発生した大水害を教訓に、大規模氾濫時を想定した浸水想定区域図の作成や子供たちへの防災教育の教材作成支援などにも取り組んでいます。洪水時のリスクや情報を地域住民の方にわかりやすく伝え、大水害が発生しても被害を最小限にできるよう関係機関と調整を図っています。

私たちの仕事は、自然災害から多くの人の命を守るために不可欠です。リスクマネジメントに対しては、いろいろな考え方があり、調整が難航することもあります。今後も水害から地域を守るために取り組んでいきたいと思っています。



平成4年度入省 (土木) 名古屋港湾事務所 企画調整課 課長 外山 裕司さん

私は海に関わる仕事をしたいと、入局しました。現在は名古屋港の新規事業の発掘、視察や広報等の業務に携わっています。

入局以来、空港会社や自治体への出向や東京勤務等、様々な業務を経験しました。中でも一番印象深いのが現在の所属の前に勤務した外務省への出向(在エジプト日本大使館)です。3年間の大使館勤務では、主に日本のODA(政府開発援助)の国土交通省案件(地下鉄整備、空港拡張)について、相手国政府の方との調整や日本の質の高いインフラ輸出に向けた調整などを行いました。

海外での生活は、日本以外の国の価値観や日本の素晴らしさを知ることができる等、自分だけでなく家族にとっても生涯の財産となっています。

このように中部地方のインフラを担当するだけでなく、希望をすれば海外勤務のチャンスもあるこの職場を選んで本当に良かったと実感しています。



昭和59年度入省 (土木) 愛知国道事務所 事務所長 高須 博幸さん

整備局の仕事は、ものづくり中部を支えるインフラを計画、整備し、メンテナンスする業務で、言い換えれば、「インフラの総合プロデューサー」といったところでしょうか。いずれの業務も整備局職員は、企画立案者あるいは執行管理者の立場で政府としての判断を行い、地域の期待に応えていく、という大変重要な任務を担っています。それゆえ、緊急的な業務等で大変な時期もありますが、皆さんが私ぐらいの年齢になる頃には、「一生の宝ものとして心に残る仕事」に出逢っているはずですよ。

また、職場の環境は、働き方改革の意識の高まりとともに、幹部から係員まで生活(家庭)との調和に努めており、とても働きやすい職場といえます。

昨今の大規模災害の頻発を背景に、国土強靱化の早期実現に向けて、整備局への期待は益々高まっています。さあ、「未来の設計図」を私たちと一緒に描いていきましょう。

平成5年度入省 (土木)
 企画部 広域計画課 係長
前野 宗さん

中部で暮らす誰もが快適で安全・安心な生活を送ることができるように、中部圏の将来像や主要事業の施策を考えることが企画部の仕事です。私は概ね10年の中部の地域づくりの方向性や具体的な戦略を示す新たな「中部圏広域地方計画」の効果的な推進に向け、計画の検討及び進捗管理を行う事務局を担当しています。

2027年には、リニア中央新幹線(東京～名古屋)が開業予定であり、人の動きも今と大きく変わります。そのため、中部圏として、何をしなければならぬのか、産学官民で連携しながら「暮らしやすさと歴史文化に彩られた」世界のづくり対流拠点-中部」の形成を目指しています。

平成28年度入省 (土木)
 岐阜国道事務所 計画課
堀池 ひかるさん

計画課では東海環状自動車道におけるストック効果の調査・資料作成、事業評価に関わる資料作成、国道156号岐阜東バイパスの設計・測量の業務等、様々な業務を行っています。私は日頃から、パワーポイントで資料を作成する機会が多く、一般の人にもわかりやすい資料を目指しています。時には、うまくいかず上司から多くの修正を受け、悔しい思いをすることもありますが、手塩に掛けて作成した資料が世の中に出たときや、説明資料として役割を果たしたときは、強くやりがいを感じます。

平成30年度入省 (土木)
 岐阜国道事務所 工務課
服部 友香さん

私は現在、「東海環状自動車道」の西回り区間の工事発注に携わっています。主に、工事費の積算や工事の指導・監督に関する書類作成等を担当しておりますが、数億から数十億もの工事費の算出にあたっては、責任の大きさに不安を感じつつ、適正に行うために常に緊張感を持ちながら実施しています。その工事が契約され、工事が進み無事完成まで至ったときの達成感はとても大きく、やりがいを感じます。

入局後は聞き慣れない単語が多く、戸惑うこともありましたが、周りの方々のサポートのおかげで安心して働くことができています。

平成6年度入省 (土木)
 岐阜国道事務所 建設監督官
山田 光希さん

私は工事の監督や指導を主に行っています。また関係自治体との調整や地域住民への工事説明なども行っています。

工事説明会の場で地域の皆さんから開通を待ち望む声を聞くとこの仕事をやっていて良かったと思います。

私が監督する区間は開通目標が定められ、その目標に向かい工事を進めています。工事を行うまでは計画を策定し、設計や用地取得など長い時間をかけて沢山の人が関わり、沢山の想いが詰まっています。その想いが形となって出来上がっていくのを間近で見とけることは嬉しい反面、重大さや責任を感じながら仕事をしています。

平成11年度入省 (土木)
 岐阜国道事務所 美濃加茂国道維持出張所 係長
池田 源一さん

私は、出張所で国道の維持管理を担当しています。国道を安心安全に利用して頂くためには、「点検」と「速やかな対策(行動)」が重要となります。そのため、道路の傷み、穴や陥没、道路への落下物や落石、倒木がないか日頃よりパトロール点検をし、事故や災害を未然に防ぐことで、普段と変わらない道路であり続けることを目指し仕事をしています。

また、道路を長く利用して頂くために「舗装」「橋」などの修繕工事や落石対策工事の監督も担当しています。



事業の中で「広報」も重要な仕事です!

平成30年度入省(土木)
 岐阜国道事務所 計画課
高橋 勇斐さん

私は、事務所の事業を記者発表やHP、SNS、現場見学会等を活用し、外部へ情報発信する広報業務を担当しています。土木の魅力を多くの方に伝えることができ、とてもやりがいを感じています。

なかでも、現場見学会は、勉強し知識を深めてから望むような心がけており、参加者に納得して頂いた時の達成感、喜びはとても大きいです。

このように、広報の仕事は、多くの方に事業の理解を深めて頂くとともに、自分自身のスキルアップも出来る重要な仕事だと思っています。

平成16年度入省(行政)
 総務部 総務課 広報係長
前田 亜希子さん

私が携わる広報業務のひとつに、中部地方整備局として発信したい情報等を報道発表資料として報道機関へ配付し、発表された内容が報道されたかどうか、どのように報道されたかをチェックする業務があります。私の席は、多岐にわたって情報が入るので、中部地方整備局が現在どのような動きをしているのか、世間ではどのような情報に興味があるのかなどを間近で感じられ、広い視野で物事をみることができ大変勉強になります。日々伝わる喜びと伝える難しさを感じています。

平成29年度入省(行政)
 岐阜国道事務所 用地第二課
加藤 里菜さん

私は現在「東海環状自動車道」事業の用地取得に携わっています。用地課では、土地所有者の方との交渉・契約、その後の登記の事務を行っています。業方と接する機会が多く、よりりと契約までに時間を要することにやりがいを感じます。

昨年度には、東海環状自動車道の一部区間で開通フラ整備の一環に携わったというのを改めて実感しました。

平成26年度入省(行政)
 岐阜国道事務所 経理課 係長
山下 昌宏さん

私は道路に関する計画・調査・設計業務の発注・契約事務を担当しています。

国土交通省が行う業務は、国民生活の基盤となる大規模な社会インフラの整備に関わるものであるため、その手続きにミスがあると、国民の皆様や事業者の方を始め、多くの方々に多大な悪影響を及ぼします。そのため、課内や所内の関係部署と綿密に打合せ等、慎重に事務を進めています。

「社会インフラのスムーズな整備には、発注・契約事務をミスなく進めることが必要不可欠だ」という思いで、日々やりがいを感じながら、仕事に取り組んでいます。

平成26年度入省(行政)
 岐阜国道事務所 大垣維持出張所 係長
岩出 佳菜さん

私が現在勤務している大垣維持出張所では、岐阜県内の国道21号や258号の道路管理を行っています。国道は、道路網の骨格を形成する幹線道路であるため、事故等が発生した場合、道路利用者には大きな影響が出る恐れがあります。

そのため、道路のパトロールや施設の点検、道路利用に係る許認可など、道路を利用される方が安全・安心に利用できるよう道路の維持管理を行っています。また、出張所は道路管理の窓口であることから、電話や来客が多く、様々な事案に対して状況を整理しながら対応策を検討し、より良い道路管理を目指し業務に取り組んでいます。

■ 技術系の仕事 ■ 事務系の仕事 ※「事務」は試験区分が行政、「技術」は試験区分が土木、農学、農業農村工学、林学、電気・電子・情報、機械、建築、物理、化学です。

行政系



平成29年度入省（行政）
総務部 契約課 **小崎 希和乃さん**

one day ある1日

契約の他に、もっと色々な仕事を経験して、周りの上司のように優しく頼れる係長になることが私の今の目標です。

8:15

出勤

家から本局までは電車で30分。始業時間の15分前には出勤します。



8:30

仕事開始

まずは1日のスケジュールを確認。



10:00

打合せ

契約課と技術担当課とで業務発注に向けての打合せ。技術系職員と情報共有することで、より事業を知ることが出来るため、色々教えてもらうよう心掛けています。



12:00

昼食

昼食は同じ課の若手職員が集まって食べています。



13:00

打合せ（課内で）

午前中の打合せの内容を踏まえた上で、上司に説明します。



14:00

WEB会議

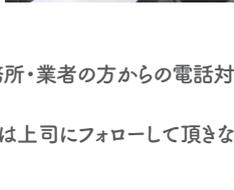
次年度に発注する業務の契約手続きの流れや注意点について、各事務所にパソコンを用いたWEB会議にて説明します。



16:00

契約書作成、電話対応等

契約書の作成をしたり、各事務所・業者の方からの電話対応をします。自身で分からない点については上司にフォローして頂きながら行っています。



17:15

退庁

明日の予定を確認し、本日の業務は終了です。退庁後は、若手職員で晩ご飯やランニングに行きます。



技術系



平成29年度入省（土木）
北勢国道事務所 工務課 **飯尾 尚平さん**

one day ある1日

この2年間で東海環状など大きな事業を経験することができました。より多くの経験が出来るよう、様々な事業に携わりたいと思います。

8:10

出勤

家から事務所までは電車で1時間。毎日始業20分前に出勤しています。



8:30

仕事開始

まずはメールやスケジュールを確認し、本日用いるものを整理します。



9:30

打合せ（施工業者と）

工期末が近い工事について、変更契約の手続きを進めるため、図面等で施工内容について確認します。本日は2工事打合せの予定です。



12:00

昼食

事務所の若手職員と食堂で食べます。



13:00

現場視察

午前中の打合せで確認した箇所について、実際に現地でも確認し、理解を深めます。また、分からない部分については、施工業者の方々から詳しく教えていただけるのでとても勉強になります。



16:00

打合せ（経理課と）

事務所到着後、打合せや現地で確認したことを整理し、経理課と今後のスケジュールについて調整します。また、変更内容の概要について説明も合わせて行います。



17:15

本日の打合わせ内容や調整結果について報告（工務課長と）

経理課との調整結果や確認事項について、上司に報告します。報告後は、今後のスケジュールを再度確認し、本日の業務は終了です。

